



全国高校総体サッカー記録用紙

限界を越え 飛ぶ力と 永遠の記録

マッチコミッショナー	主 審
------------	-----

大会名	平成20年度 全国高等学校総合体育大会サッカー競技	第1日 1回戦	平成20年7月29日(火)	15:00	競技時間(延)	70分(分)	観衆	100人					
会場	レズランドF1グラウンド	【 14 】	天候	曇時々晴	弱 風	ピッチ	全面良芝	状態	乾燥	温度	30℃	湿度	60%
審判	主 審 中村 太	副 審 渡辺 紀承	副 審 清水 友	第4の審判 榎本 一慶	記 録			上野 雄司					

校名	北海道	0	前半	0	校名	宮城県
北海道	2	2	後半	0	東北	宮城県
			延前			
			延後			

No	PK方式	No
○×		○×

交代 番号	時間	シュート				得点	学年	選手名	番号	位置	位置	番号	選手名	学年	得点	シュート				交代 時間	番号	
		後半	前半	前半	後半											延前	延後					
				1		3	福永 敦史	1	GK	GK	1	高橋 祐二	3									
						2	加賀谷 勇介	2	DF	DF	2	齋藤 一輝	3									
						3	小泉 匡	3	DF	DF	3	岡部 貴大	2			2						
						3	兼子 到(cap)	5	DF	DF	9	門間 拓巳(cap)	3			1						
				1		3	廣瀬 拓哉	4	DF	MF	13	伊藤 翼	3									38
						2	工藤 駿	6	MF	MF	14	庄子 竜太	2									
				2		3	関口 雄与	7	MF	MF	8	日下 裕太	3			1						
48						3	新井田 一樹	8	MF	MF	15	石井 啓太	3									30
					1	3	西村 啓	10	MF	MF	7	嶺岸 佳介	2			1						
						2	東海 尚哉	9	FW	FW	16	千葉 真史	1									57
66						2	松野 大輝	14	FW	FW	10	庄司 和史	3			2						40
						2	伊藤 亮介	17	GK	GK	17	坂本 龍彦	2									
						3	溝口 由紀	12	DF	MF	4	庄子 貴大	3									16
						2	島田 勇貴	13	MF	DF	5	日野 竜馬	2									15
						1	鈴木 啓介	16	MF	MF	6	伊東 瑞木	3									10
14						2	小島 翼	15	FW	FW	11	瀧澤 大祐	3									
8					1	3	山口 拓真	11	FW	MF	12	渡辺 一矢	3									13
				8		6	小計	14	シュート合計				7		3		4					

警退時間	No	氏名	内容	計	延長	後半		前半		計	警退時間	No	氏名	内容		
						後半	前半	後半	前半							
				8		3	5	G K	5	4	9	警	36	2	齋藤 一輝	反スポ
												警	53	12	渡辺 一矢	ラフ
				6		4	2	C K	0	2	2	警	61	5	日野 竜馬	反スポ
				9		4	5	直接FK	10	6	16					
				10		1	0	間接FK	0	1	17					
				1		1	0	P K	0	0	0					

得点経過 (凡例: ~ドリブル、→ゴロのパス、↑浮球のパス、×混戦、Sシュート、Hヘディング)

時間	得点者	アシスト	得点経過	時間	得点者	アシスト	得点経過
50	11 山口 拓真	10 西村 啓	中央⑩→中央⑩S				
62	10 西村 啓		⑩PK				

【戦評】 記者: 栗原 正実 (東北学院榴ヶ岡 高等学校)  
 序盤からスピード感溢れ、激しくプレッシャーを掛け合う。その中から如何にプレーするかが、興味を持たれた試合展開となった。北海は4-4-2のダブルボランチのシステムでワイドに攻撃を仕掛け、丁寧にボールを運びシュートまで持ち込む。一方、東北は3-5-2のダブルボランチでリベロを置いたシステム。中盤でプレッシャーをかけてボールを奪い攻撃を仕掛けるスタイル。後半はプレスが甘くなった東北のDFを北海がワイドにボールを回し、ポストプレーなどで中央から攻撃して東北陣内を攻め込む。東北は失点してから⑩を前線に上げてパワープレーを試みるが、最後まで主導権を握れなかった。互いに最後まで体を張ったプレーで戦い抜いた好ゲームであった。